

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 https://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
<https://www.shizuki.co.jp>



株主通信

第98期 報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

メッセージ

変化から進化を。

改善から、

より善い明日を。



証券コード 6994 / スタンダード市場

株式会社 指月電機製作所





代表執行役社長
稲垣 裕一

5期連続で最高売上高を更新。 グループ一丸となって、 変化に即応できる組織への変革を。

継続的な物価上昇や米国の貿易政策の動向、中東情勢の緊迫化など、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いています。当社グループを取りまく事業環境においても、xEV市場の需要低迷や、当社採用品モデルのピークアウトによる影響など、予断を許さない状況が続いています。このような状況のもと、私たち指月電機グループは、産業機器用コンデンサ、xEV用コンデンサ、電力機器システムを中心とした重点事業の売上拡大に努めるとともに、継続して取り組んできた「生産性の改善」、市場の動向を踏

変化から進化を。 改善から、より善い明日を。

2019-2028年度 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し
社会に貢献する企業グループになる

まえた「資源の再配分」、そして、グループ一丸となった「連携強化」に取り組んでまいりました。

結果として、中期経営計画第Ⅲ期の初年度にあたる2025年度の連結売上高は27,995百万円(前年度比2.4%増)となり、5期連続で過去最高値を更新。営業利益は前年度比27.1%増となる2,529百万円、当期純利益は前年度比66.6%増となる1,990百万円となり、2014年以来11年ぶりに過去最高を更新する運びとなりました。

特に、電力機器システムにおいては、AIやビッグデータ、IoT、クラウドサービスの拡大を背景としてデータセンターなどへの設備投資が増加。その旺盛な需要に応えるべく、進相コンデンサや直列リアクトルなどの力率改善用機器が大きく伸長しました。収益性の高い電力機器がグループ全体の収益力を押し上げるかたちとなり、ROE(自己資本当期純利益率)においても、2025年度実績8.2%(前年度比3.0%増)と、2028年度の目標を先行して達成。まだ道半ばではありますが、第Ⅲ期の初年度として、確かな手応えにつながる一年となりました。

一方で、xEV市場の減速によって生じた余剰生産力については、産業機器分野への振り向けや生産ラインの共有化、生産体制の見直しを図ることで、市場変化への柔軟な対応を進めています。

徹底した改善を通じて 従業員一人ひとりに芽生えた、 自ら考え、動く力。

市場の変化に即応できる、適応力のある組織への変革。それを象徴する取り組みのひとつが、グループを挙げて推進してきた「生産性改善」への挑戦です。

例えば九州指月では、旺盛な需要に対して生産能力が

追いつかず、生産ラインの見直しが喫緊の課題となっていました。そこで秋田指月や岡山指月、西宮本社の若手リーダーたちが九州へ集まり、およそ3カ月にわたって集中的な改善活動を展開。設備や工程、治工具の配置、作業者の動きと動線などをゼロベースから見直し、約200項目にのぼる「改善」を徹底的に推進しました。その結果、ある製品において一日あたりの生産台数が160%を超える改善を実現するなど、当初期待された目標を上回る生産能力の改善が見られ、収益増にも大きく貢献しています。

重要なのは、単に設備を更新したことではありません。本社や工場、開発・製造・販売といった立場を越えて知恵を出し合い、「どうすればもっと良くなるのか」を一人ひとりが主体的に考え、改善へとつなげる文化が、グループ全体に根つき始めていることに、次へとつながる手応えを感じています。

現在は、九州指月における改善活動で培われた知見と経験を、秋田指月をはじめとした他拠点へ水平展開する新たな挑戦も動き出しています。市場環境が大きく変化する時代だからこそ、グループ全体で知恵を出し合いながら、自ら考え、行動し、改善を積み重ねていける組織づくりを、さらに推進していく所存です。



xEVと産業機器。 それぞれに磨いてきた技と知を融合させ、 新たな価値を創出する。

グループ一丸となった変革は、生産性の改善だけでなく、新たな製品の開発においても実を結び始めています。

現在のコンデンサ・モジュール事業部門は、これまでxEV分野と産業機器分野に分かれていた組織を統合するカタチで誕生しました。自動車という高度なものづくりを支えながらxEV分野で培ってきた高品質・高精度な技術。産業機器分野でお客様の多様なご要望に寄り添いながら培ってきた柔軟なカスタム対応力。その両面を掛け合わせることで、新たな価値創出に向けた挑戦が動き出しています。

例えば、現在進行している新たな開発テーマでは、こ

れまで別々に磨かれてきた技術やノウハウを融合させ、新しいコンセプトをそなえた新製品の開発を推進しています。これは単なる新製品開発ではなく、xEV市場の変化によって生じた余剰生産力の有効活用や、生産拠点間の連携強化まで見据えた取り組みでもあります。

また、既に顕在化しているお客さまのご要望をかたちにするだけでなく、自分たちが主体となってお客さまの想像を超えるものづくりに挑み、それによってこれまで見えなかった潜在的な需要を掘り起こすという面でも、現在推進している開発テーマは、私たち指月電機グループが新たな一歩を切り拓くためのチャレンジだと考えています。

私たちはこれからも長期経営ビジョンに掲げた「挑戦する社風への変革」に向けて、さまざまな面から挑戦を重ねていく所存です。株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

開発・製造・販売 あらゆる面で進む「知の融合」



掛け合わせることで新たな価値創出に挑戦



変革への、変わらぬ覚悟

挑戦する社風への変革、 この一点に懸けた7年間

取締役会会長
足達 信章

2019年に代表執行役社長へ就任して以来、コロナ禍、原材料の価格高騰や供給不安、円安の急進など、私たちを取り巻く事業環境は絶えず変化してきました。変化が常態化する時代にあって、浮き彫りになったのは、変わるべき自分たち自身の姿でした。

私たちは長期経営ビジョンの中で「挑戦する社風への変革」掲げ、結果だけを求めるのではなく、自ら考え、行動し、改善を積み重ねるプロセスを大切にしながら、部門や拠点を越えて知恵を持ち寄る組織づくりを進めてきました。まだ道半ばではあるものの、この7年間で、従来の枠組みを超えた行動を自ら発案し、周囲の共感を得ながら挑戦に取り組む人材が増えてきたことを心強く感じています。

そして今、稲垣新社長や次世代を担うリーダーたちのもと、その変化を組織全体へと広げていく段階へ進もうとしています。株主の皆さまには、これからも変わらぬご支援とご期待を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

シツキの原点を改めて見つめ、 挑戦の原動力へ

代表執行役社長
稲垣 裕一

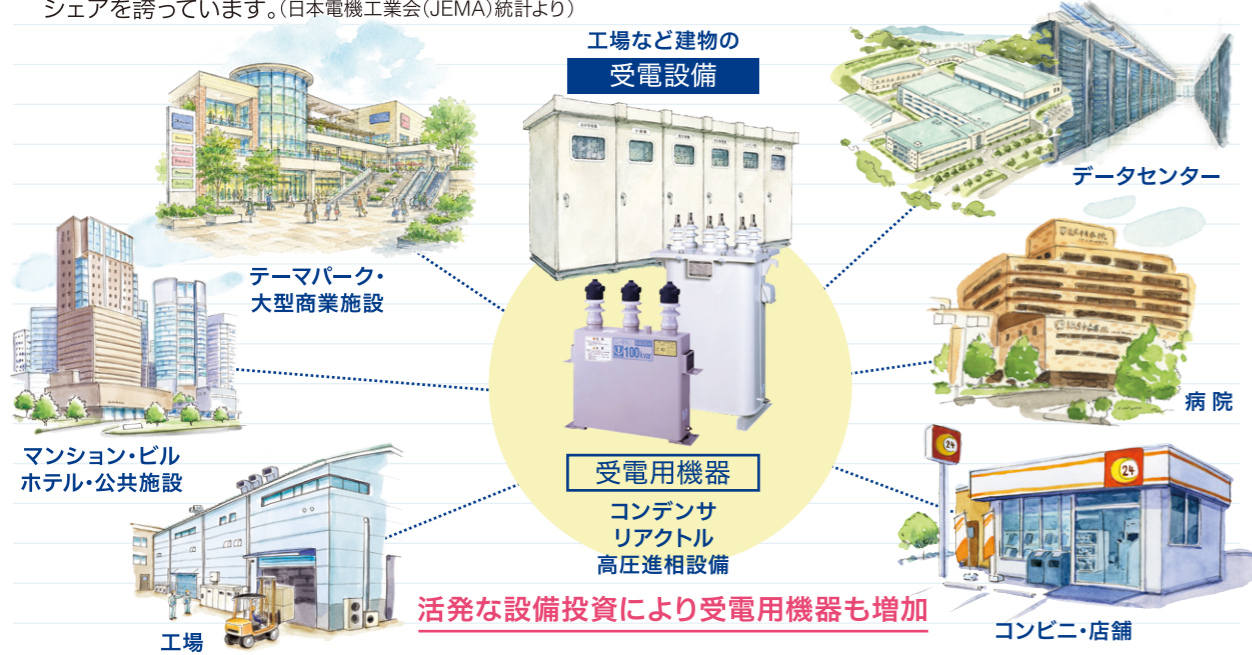
この度、代表執行役社長に就任いたしました稲垣裕一と申します。私は1990年の入社以来、生産技術や電力システムの技術・開発に携わり、アクティブフィルタの技術を確立させるべく尽力。その後は技術部門の部門長、グループ工場の代表取締役などを務め、シツキのものづくりと事業運営に携わってまいりました。

社長就任にあたり、私自身はゼロからの出発の覚悟ですが、決してゼロから始まるわけではありません。今、改めて感じるのは、創業以来受け継がれてきた「お客さま第一主義」と「人間性尊重」という理念の重みです。足達会長のもとで進めてきた「挑戦する社風への変革」は、シツキの理念と深く結びつくものであり、これから一層、一人ひとりが力を発揮しながら新たな価値を創出できる、一体感のある組織づくりを進めていく所存です。

株主の皆さまのご期待に応えるべく、企業価値の向上に挑み続けてまいります。ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国内の設備投資が活況 コンデンサ、電力機器システムの需要拡大

生成AIなどの普及を背景に建設が増加しているデータセンターをはじめ、国内の設備投資は堅調に推移し、シヅキのコンデンサや電力機器が、さまざまな工場や施設に活用されています。電力機器システムの受電用機器においては、受電の規模が大きくなるほどそれに応じた製品台数が必要とされます。当社の受電用機器は国内TOPクラスのシェアを誇っています。(日本電機工業会(JEMA)統計より)



株主通信の送付に関するお知らせ

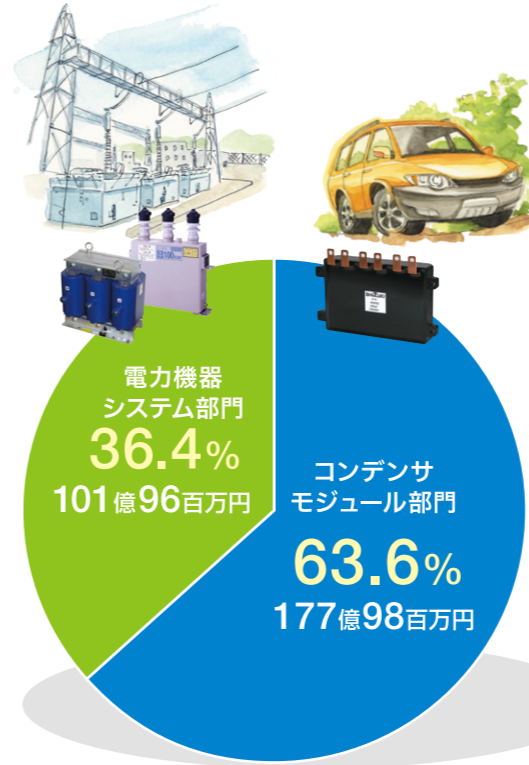


これまで、株主の皆さまへ、紙の冊子としてお送りしてまいりました「株主通信」につきまして、ペーパーレス化推進による環境負荷軽減の観点から、2026年度中間期報告書(2026年11月発行)より、当社公式ホームページへの掲載のみとし、冊子の送付を取りやめる運びとなりました。株主の皆さまには、何卒ご理解をいただきますとともに、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社公式ホームページ IR情報/株主通信
<https://www.shizuki.co.jp/financial/notes/>



2025年度通期の業績概要

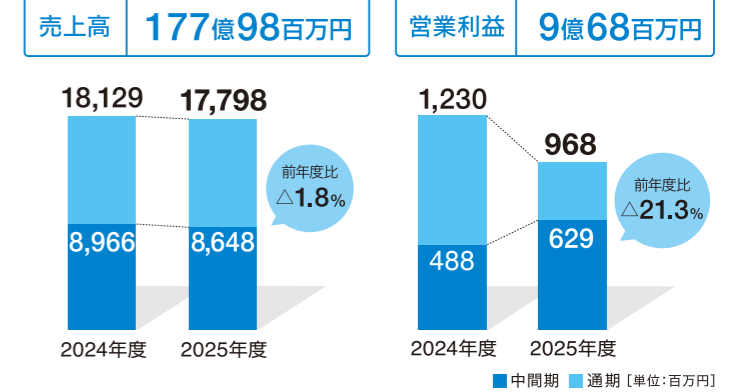


連結売上高
279億95百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△1,526百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

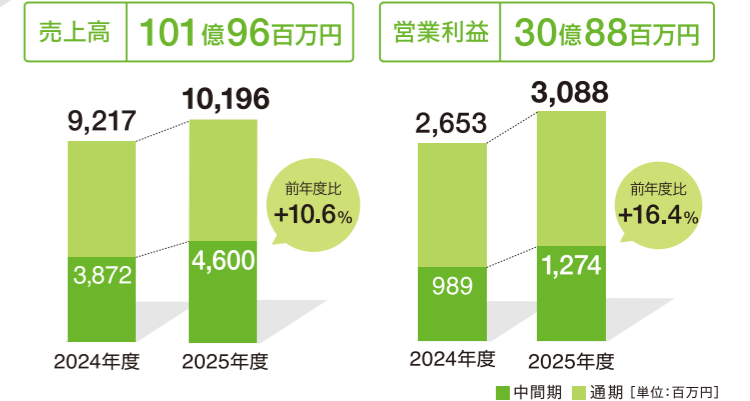
コンデンサ・モジュール部門

産業機器用コンデンサはパワエレ市場を中心に国内の売上が好調に推移したものの、xEV用コンデンサは当社採用品モデルのピークアウト等による影響により、前年度比で減収となりました。結果、売上高は17,798百万円(前年度比1.8%減)となりました。

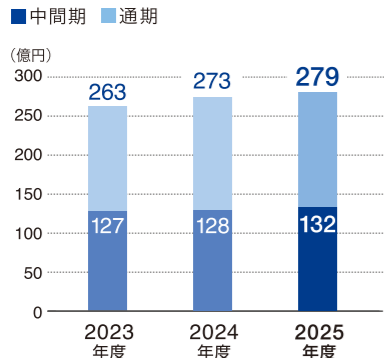


電力機器システム部門

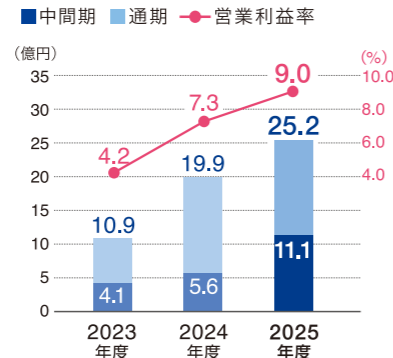
国内における設備投資の需要増加に伴い、進相コンデンサや直列リアクトル等の力率改善用機器の売上が大きく伸びました。結果、売上高は10,196百万円(前年度比10.6%増)となりました。



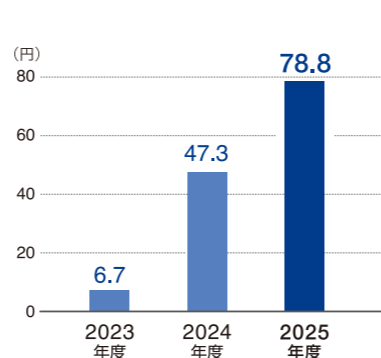
売上高



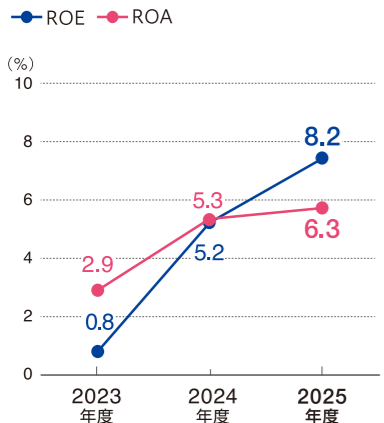
営業利益・営業利益率



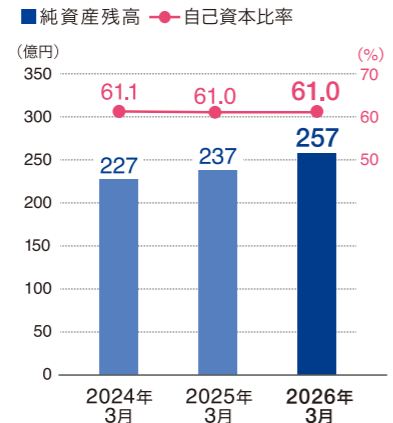
1株当たり利益 (EPS)



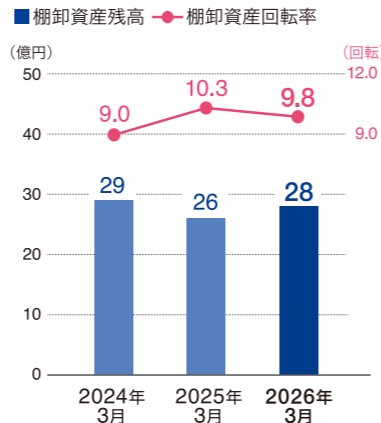
自己資本当期純利益率 (ROE) 総資産営業利益率 (ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



売上高は、xEV用コンデンサが減少したものの、電力機器システムが伸長し、前年度比6.5億円増収の279億95百万円となり、5期連続で過去最高値を更新しました。営業利益は、生産性改善の効果や売上構成の変動等があり、前年度比5.4億円増益の25億29百万円となりました。営業利益、当期純利益は、ともに過去最高値を更新する結果となりました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第97期 通期 2025年3月31日現在	第98期 通期 2026年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,112	22,190
現金及び預金	5,929	9,187
売上債権	11,007	9,993
棚卸資産	2,667	2,842
其他資産	508	167
有形固定資産	14,183	14,911
無形固定資産	338	246
投資その他の資産	3,709	4,278
資産合計	38,344	41,626
負債の部		
流動負債	6,882	6,133
固定負債	7,715	9,702
負債合計	14,597	15,835
純資産の部		
株主資本	19,931	21,391
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,301	4,301
利益剰余金	14,249	15,709
自己株式	△3,621	△3,621
その他の包括利益累計額	3,452	3,988
非支配株主持分	363	411
純資産合計	23,747	25,790
負債純資産合計	38,344	41,626

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第97期 通期 2025年4月1日から 2025年3月31日まで	第98期 通期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで
売上高	27,346	27,995
売上原価	20,313	20,116
売上総利益	7,033	7,878
販売費及び一般管理費	5,042	5,349
営業利益	1,990	2,529
営業外収益	513	843
営業外費用	707	411
経常利益	1,797	2,961
税金等調整前当期純利益	1,797	2,961
法人税、住民税及び事業税	600	1,067
法人税等調整額	△42	△116
当期純利益	1,239	2,010
非支配株主に帰属する当期純利益	44	19
親会社株主に帰属する当期純利益	1,194	1,990

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

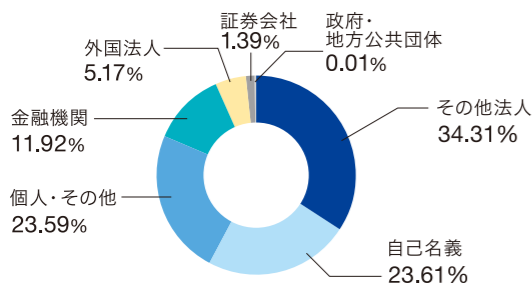
科目	第97期 通期 2025年4月1日から 2025年3月31日まで	第98期 通期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,563	5,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,573	△1,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	305	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	182
現金及び現金同等物の増減額	1,398	3,258
現金及び現金同等物の期首残高	4,531	5,929
現金及び現金同等物の期末残高	5,929	9,187

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	7,661名

所有者別株式数分布状況

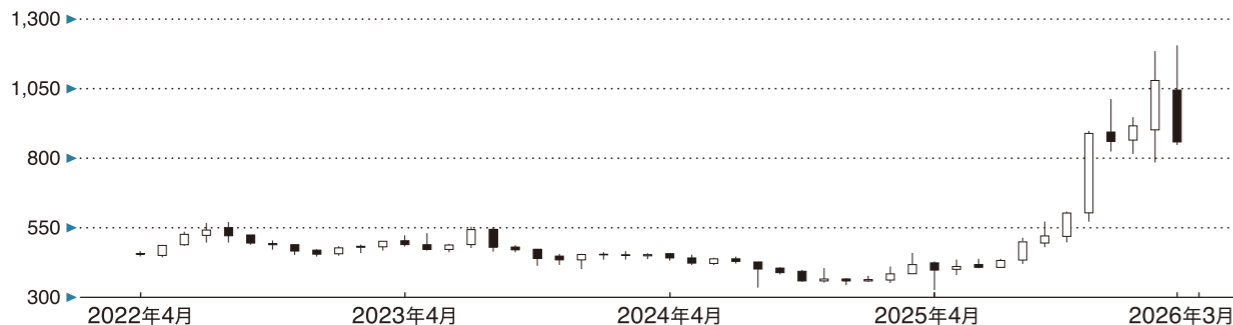


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	5,771	22.9
株式会社村田製作所	4,471	17.7
株式会社りそな銀行	1,000	4.0
指月協友持株会	991	3.9
株式会社みなと銀行	925	3.7
BNP PARIBAS LUXEMBOURG / 2S / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	880	3.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	619	2.5
東京海上日動火災保険株式会社	383	1.5
指月電機製作所自社株投資会	371	1.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	307	1.2

(注)持株比率は、自己株式(7,806,165株)を控除して計算しております。

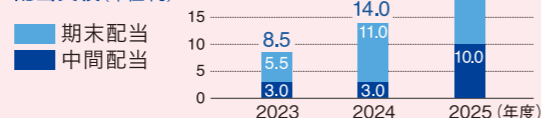
株価の推移(円)



期末配当金
1株当たり
14円

- 期末配当金 1株当たり14円
- 支払対象者 2026年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2026年6月9日

1株当たりの配当実績(単位:円)



会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	https://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,353名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■ 電力機器・装置の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京支社 ● 東京支店／関西支店／中部支店 ● 仙台営業所／日立営業所 ● 広島営業所／福岡営業所

役員

取締役

取締役会長	足達 信章*
取締役	稲垣 裕一*
取締役	三野 克也*
取締役	小山 義雄
取締役	松尾 誠人*
取締役	松尾 聡*
取締役	御厨 忠章*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	足達 信章
専務執行役	稲垣 裕一
執行役	牧添 浩明
執行役	三野 克也
執行役	野上 栄一
執行役	豊田 晃久
執行役	西村 大

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社(米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	80.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月FCソリューションズ	100,000千円	35.0